

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878

第3回 マザーレイクフォーラム びわこコミ会議 に出席、当団体の 若手はすごい

平成二十五年八月三十日(月)
午前十時三十分～午後四時三十分
会場：ゴッホ21.3階大会議室
主催：マザーレイクフォーラム運営委員会
愛知県からは四団体が代表して出席
しました。ブースも25団体が出展
しました。びわ湖に関する研究を滋賀県
と共に活動している団体が約40団体
あり、ワークショップも含めて研究発表
や、討論を
行なうた。
我が団体からは
若手3名が同
行交流会に参
加して積極的
に参加して
意見を述べて
いた。
滋賀県琵琶
湖政策課から
発表で、この年
琵琶湖に現れた
症状は、いかに
点であった。
(右下の欄に敘
る)

当団体の役員
左から橋田氏、尾
渡氏、武田氏



2013.08.31

びわ湖に
現れた
症状

- ①大型の植物の増殖(8月)
- ②北湖の湖底で急激な溶存酸素の低下(8月)
- ③南湖でアオコの発生(9月)
- ④謎の泡の発生(8月)
- ⑤水草の減少(9月)

④謎の泡の発生(8月)
⑤水草の減少(9月)
⑥アオコの産卵が激減(9月)



2013.08.31

新江州株式会社
循環型社会を
実現する
と、その関連
団体の話し合
いに参加。
会議のテーマ
を決め、その
をマインドマ
ップに改善す
る話をしたが
このグループ
提案に賛成し
て採用するこ
とになる。
隣りに
嘉田幹事が
座って討論の
内容を聞き、
手前背中姿
代表高橋氏



2013.08.31

他県との他団
体との交流は
始まりは少な
くはないが、
今回は、新し
いやり方、新し
い方式で攻める
今回は非常に
学ぶことが多
く、機会があれ
ば若手と橋に
市外真夏の
交流を増やして
行くことを方
針に入れるこ
とにする。



2013.08.31



2013.08.31